

OJT(On-the-Job-Training)に関するアンケート

集計結果

〈調査目的〉

- ・本市の学校現場におけるOJTに対する意識及び実態の把握

〈調査方法〉

- ・Formsでアンケートを作成、メールまたはTeamsで送付

〈調査対象〉

- ・本市小学校、中学校、義務教育学校、総合支援学校に勤務する学校長、教務主任、研究主任、キャリアアップ研修受講対象（主に採用10年目）教員、採用2・3年目教員（養護教諭、栄養教諭も含む）

〈調査時期〉

- ・令和4年7月14日（木）～7月29日（金）

*対象ごとに集計し、まとめた基礎集計表である。

*1～3（対象によっては4）の回答は、所属や名前を問うものなので省略している。

*記述内容については、語尾や句読点等、一部筆者により編集している。

☆回答人数及び回答率

	小学校		中学校		義務教育学校		総合支援学校		合計	
	回答人数 (人)	回答率 (%)								
学校長	150	100	64	100	8	100	6	100	228	100
教務主任 研究主任	259	86.3	109	85.1	23	71.8	8	66.6	399	84.5
キャリアアップ 研修受講対象者	107	77.5	51	60.7	15	83.3	17	68	190	71.6
採用2・3年目	232	79.4	81	53.2	11	68.7	49	70	373	70.3

基礎集計表（学校長）【割合（％）】

4. 貴校では、どの年齢層を核にして人材育成を図っていますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 採用1～5年目教職員	50	39	12.5	33.3
2 採用6～10年目教職員	48	57.8	50	50
3 採用11～14年目教職員	23.3	42.1	37.5	50
4 採用15年目以上の教職員	14	17.1	12.5	33.3

5. 貴校では、キャリアステージを踏まえ、教職員が「学び高めあえる」組織が構築されていますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 そう思う	20.6	12.5	37.5	16.6
2 大体そう思う	69.3	73.4	50	50
3 あまりそう思わない	10	12.5	12.5	33.3
4 そう思わない	0	1.5	0	0

6. 貴校の教職員が相談し合ったり、学び高め合ったりしやすい環境にするために、学校長として工夫されていることはありますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 ある	92	84.3	87.5	100
2 ない	8	15.6	12.5	0

7. どのような工夫ですか。（自由記述、抜粋）

- ・組織を工夫し、学年・校務分掌のいずれもを主任が中心となって進められるように意識し、ミドルアップダウンを大切に学校運営ができるようにしている。
- ・目の前の子どもたちを真ん中において「学校はみんなで創る」という考え方を大切に、できるだけ各分掌主任の考えを尊重して実践につなげられるようにしている。
- ・教職員それぞれの実践をオープンにするために、校長から教職員に写真とコメントで共有するようにしている。
- ・教職員に活躍できる場を設定し、活躍したことをタイムリーに褒めて認める。
- ・今年度より、16時5分を完全下校時刻とし、そののちの学年会・各種打合せ、教材研究等に使える時間を確保
- ・授業持ちクラスを学年縦持ちにすることで、教科会の充実と生徒情報の共有、また、他学年の生徒でも関わりをもちやすいしかけをつくっている。
- ・教職員が話し合った「自校の課題や強み」について、学校教育目標に反映させている。
- ・各種系のチーム制の明確化、チーム内でのメインの人間・補佐し育てる役割の明確化

8. 各教職員がセンター主催の指名研修で学んだことを、貴校の教職員に伝える機会がありますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 ある	84.6	82.8	87.5	66.6
2 ない	15.3	17.1	12.5	33.3

9. どのような機会ですか。（自由記述、抜粋）

- ・職員会議や研修会で短時間ではあるが、伝達の時間を確保するようにしている。時間が設定できない場合には、資料があればそれを全教職員に配布するようにし、一人の学びを全教職員の学びにつなげるようにしている。
- ・夏休み後半に教職員一人一人が学んだことを5分程度発表する研修の場を設けている。
- ・レポート式に回覧したり、若手研の中で相互に伝達研修を行っている。
- ・Teamsやメールでの発信、センターサーバ等でのフォルダでデータの共有

10. 各教職員が校外（センター主催の任意研修や研究会活動等）で自主的に学んだことを、貴校の教職員に伝える機会がありますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 ある	69.3	56.2	87.5	83.3
2 ない	30.6	43.7	12.5	16.6

11. どのような機会ですか。（自由記述、抜粋）

- ・ Teamsや週1回定例の学年主任会
- ・ 学んできた講義の資料を電子データにしてセンターサーバーに保管し、メールでアクセスして内容を見られるようにしている。
- ・ 冊子をつくり、教職員全員が1~4ページを担当して、学校教育目標達成に向けてどのような手法でどのように取り組んだのかをまとめる機会がある。
- ・ 校内研修で、数名の教職員が自身が夏休み中の研修に参加したことをまとめ、発表する時間をとっている。

12. 『京都市OJT実践ガイドライン』（平成29年5月）をご存知ですか。

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 知っている	90	89	87.5	66.6
2 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない	10	9.3	12.5	33.3
3 知らない	0	1.5	0	0

13. 下記（省略）は「京都市で進めるOJT」です。貴校では、このような「OJT」を意識した取組を行っていますか。

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 行っている	40	18.7	37.5	33.3
2 どちらかといえば行っている	54	67.1	50	66.6
3 どちらかといえば行っていない	5.3	14	12.5	0
4 行っていない	0.6	0	0	0

14. (13. で3・4の場合) 貴校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	66.6	66.6	0	0
2 新たな取組への負担感が大きい	22.2	11.1	0	0
3 推進するリーダーがいない	33.3	44.4	0	0
4 教職員間に教え合う雰囲気ができていない	22.2	22.2	0	0
5 どのように進めればよいか分からない	11.1	22.2	100	0
6 必要性を感じない	0	11.1	0	0
7 課題はない	11.1	0	0	0
8 その他	44.4	0	0	0

・ 各ステージの人数バランスが悪い
・ 時間が生み出せない など

15. どのような取組ですか。具体的に教えてください。（自由記述、抜粋）

- ・ 主要な校務分掌を二人体制で行い、学べるようにしている。
- ・ 「学年主任マニュアル」を作成し、共有している。
- ・ 若手研をメンター制を取り入れて行っている。
- ・ センター主催の研修や研究会活動等での学びを、パワーポイント等にまとめて発信するようにしている。
- ・ ミニ研修を企画し、教職員が交代で講師役になり、研修をする場を作っている。
- ・ 選択希望性の研修会の実施
- ・ 校内研究は全体協議会よりも少人数グループでの意見交流を重視
- ・ 反転授業（演習）を活用した研修会やグループ演習発表など、主体性をもち、自分事と捉えられる研修を行っている。
- ・ 研修をアウトプット型で行うようにし、テーマに合わせた研修が受け身にならないように、それぞれの教員が小グループでの討議や、その場の発表者になるようにするなどの工夫を続けている。
- ・ 中学校区の3小学校とチームズで3校にまたがる学年会を月1・2回実施し、互いに研鑽等を深められるようにする。

16. その取組は、意図的・計画的・継続的に行っていますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 意図的に行っている	75.8	76.3	85.7	66.6
2 計画的に行っている	68	41.8	85.7	100
3 継続的に行っている	67.3	56.3	57.1	33.3
4 どれもあてはまらない	0	1.8	0	0

17. その取組を通して、それぞれの力は高まっていると思いますか。

	校種	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 若年（採用5年目まで） 教職員の資質能力	小学校	29.7	68	2.1	0
	中学校	41.8	58.1	0	0
	義務教育学校	28.5	71.4	0	0
	総合支援学校	33.3	50	16.6	0
2 ミドル（採用6～14年目） 教職員の資質能力	小学校	19.1	73.7	7	0
	中学校	34.5	63.6	1.8	0
	義務教育学校	42.8	57.1	0	0
	総合支援学校	50	33.3	16.6	0
3 ベテラン（採用15年目 以上）教職員の資質能力	小学校	11.3	66.6	21.2	0.7
	中学校	16.3	50.9	30.9	1.8
	義務教育学校	0	85.7	14.2	0
	総合支援学校	0	66.6	33.3	0
4 学校の組織力 （協働して共通の目的を達成 しようとする力）	小学校	24.8	69.5	4.9	0.7
	中学校	23.6	69	7.2	0
	義務教育学校	42.8	57.1	0	0
	総合支援学校	33.3	66.6	0	0

18. その他に「OJT」によって高まっていると思われる力があれば教えてください。
（自由記述、抜粋）

- ・同僚性 ・向上心 ・各自のICT能力 ・自己決定力 ・プレゼン力
- ・教職員各自の主体性と学校運営参画意識 ・教職員の自己研鑽の意識
- ・研修の主体となるミドル世代の自覚

19. (13. で1・2の場合) 貴校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、課題となっていることはありますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	義務教育学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	68	81.8	71.4	83.3
2 新たな取組への負担感が大きい	39	43.6	0	33.3
3 推進するリーダーがいない	22.6	16.3	0	33.3
4 教職員間に教え合う雰囲気 できていない	4.2	5.4	14.2	16.6
5 どのように進めればよいか分からない	1.4	1.8	0	0
6 必要性を感じない	0	0	0	0
7 課題はない	8.5	1.8	0	0
8 その他	18.4	12.7	28.5	0

・単年計画になっていること ・他校や全市的な状況の把握
・働き方改革の声を支える人的補充がなく時間を使って関わり合うことができない
・研究会活動など、校外での学ぶ機会の活用 など

20. OJTの推進について、ご意見があればお書きください。
（自由記述、抜粋）

- ・働き方改革が進めば、OJTがさらに主体的で効率の良い取組になっていくと考えている。
- ・若手教員が増えており、組織の年齢構成も著しく変化していく実態を踏まえ、OJTを推進することにより、「当たり前」だと思っていた常識・知識を、漏れなく、全教職員が獲得した状態になるようにしていきたい。
- ・新たな取組としてOJTをするというよりは、今行っている研修や若手育成がOJTとつながっていることをカリマネと同じようにとらえていくのが良いと思う。
- ・管理職の指導ではなく、学校文化としてのOJTとなるよう意識をしている。
- ・経験の浅い教職員は学ぶことについては積極的に行える。そこに中堅・ベテランの引き上げる力と新しいことへの挑戦の気持ちが合わさればいいと思うが、時間がかかりそうである。
- ・核になる教員の育成が急務。しかし、核になる教員の日常の負担がすでに大きく研修や学ぶ時間の確保が困難。
- ・教職員は多忙を極めており、働き方改革との両立が厳しい。
- ・本校のような小規模校では、OJTでは限界があると思う。もっと、外部の研修会に参加できる機会をつくっていきたい。

基礎集計表（教務主任・研究主任）【割合（％）】

* 義務教育学校前期課程は小学校、後期課程は中学校に含む

5. 採用何年目ですか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 採用10年目まで	13.3	11.4	25
2 採用11～15年目	25.6	36	37.5
3 採用16～20年目	43.4	21.3	12.5
4 採用21年目以上	17.4	31.1	25

6. 日々の仕事を進める上で、困っていることがあれば教えてください。

（自由記述、抜粋）

- ・スクラップ&ビルドができていないため、業務が多岐にわたっている。
- ・教務部が一人しかいないので、全体に関わる仕事のわりに個業になりがちであること。
- ・業務内容が多いことや業務のカバー範囲が広く、なかなか働き方改革を図れないこと。
- ・子どもだけでなく、教職員一人一人のよさを「発揮できる・引き出すことができる・伸ばすことができる」環境を整えること。
- ・組織の若年化と教職員の異動による研究の層の厚さや理解度・研究の積み上げと共通理解が厳しくなっている。
- ・若手を育てる研修の在り方
- ・有効的な研修会の進め方

7. 仕事に関することで学びたいことや分からないこと、困ったことなどがあつたとき、どのようにして解決することが多いですか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自校の教職員に相談する。	96.6	89.3	100
2 他校の教職員に相談する。	74.3	72.1	75
3 1・2以外の家族や知人などに相談する。	22.6	13.9	25
4 本や資料、ICT機器等を使って調べる。	78	65.5	100
5 京都市総合教育センター主催の研修会に参加して学ぶ。	39.4	29.5	12.5
6 研究会活動に参加して学ぶ。	39.4	29.5	12.5
7 5・6以外の研修会やセミナー等に参加して学ぶ。	15.6	16.3	12.5
8 自分だけで解決する。	16.7	23.7	25
9 その他	1.1	1.6	0

8. 以下の京都市総合教育センターの研修コンテンツ等で、自己の学びのために利用したことがあるものを選んでください。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 京都市総合教育センター内にある「カリキュラム開発支援センター」	56.5	25.4	12.5
2 京都市総合教育センターが作っている「総合ポータルサイト」	85.8	71.3	50
3 京都市総合教育センターが作っている「教職員研修支援SMART POTAL」	88.8	54.9	50
4 どれも利用したことがない	0.7	13.1	12.5

9. 日頃、自校の管理職から教えられたり、自分から相談したりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	73.6	62.2	50
2 どちらかといえばしている	20.8	26.2	50
3 どちらかといえばしていない	4.8	11.4	0
4 していない	0.7	0	0

10. (9. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	28.3	9.2	0
2 学級経営	31.1	5.5	0
3 児童生徒への対応	61	20.3	25
4 保護者への対応	75.1	31.4	25
5 分掌等の校務	91.3	100	75
6 職場の人間関係	39.7	29.6	37.5
7 その他	2.3	0	25

11. (9. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	53.3	42.8	0
2 相手が忙しくて時間が取れない	40	42.8	0
3 相手に話しかけにくい雰囲気がある	13.3	21.4	0
4 職場に相談しにくい雰囲気がある	13.3	7.1	0
5 何を相談したらよいか分からない	20	21.4	0
6 その他	33.3	35.7	0
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職の方にご迷惑をかけてしまうから ・どのように相談したらよいか難しい など 			

12. 日頃、自校の管理職以外の教職員から教えられたり、自分から相談したりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	61.3	58.1	12.5
2 どちらかといえばしている	29.3	31.9	62.5
3 どちらかといえばしていない	8.1	9	12.5
4 していない	1.1	0.8	12.5

13. (12. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	62.2	52.7	0
2 学級経営	47.1	27.2	0
3 児童生徒への対応	72.5	60	16.6
4 保護者への対応	57.3	49	33.3
5 分掌等の校務	65.1	76.3	83.3
6 職場の人間関係	26.2	30.9	33.3
7 その他	3.2	0.9	0

14. (12. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	56	41.6	50
2 相手が忙しくて時間が取れない	32	33.3	100
3 相手に話しかけにくい雰囲気がある	4	8.3	0
4 職場に相談しにくい雰囲気がある	8	0	0
5 何を相談したらよいか分からない	8	0	0
6 その他	32	50	50
<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかといえば教えたり、相談されたりする立場のため ・同じ境遇で経験されてきた自分より先輩の先生がいない など 			

15. 日頃、自校の教職員に教えたり、相談にのったりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	50.9	54	50
2 どちらかといえばしている	43.8	40.1	50
3 どちらかといえばしていない	4.4	4.9	0
4 していない	0.7	0.8	0

16. (15. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	80.3	66	37.5
2 学級経営	71.3	52.1	50
3 児童生徒への対応	86.2	83.4	75
4 保護者への対応	74.9	69.5	50
5 分掌等の校務	67.4	77.3	87.5
6 職場の人間関係	21.5	33	50
7 その他	2.7	2.6	0

17. (15. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	57.1	85.7	0
2 相手が忙しくて時間が取れない	28.5	71.4	0
3 職場に教えたり相談したりしにくい雰囲気がある	14.2	14.2	0
4 その他 ・自身に教えを請われたり相談されるだけの器・経験・知識がない ・あまり相手が聞いてこない など	42.8	28.5	0

18. 校内に、自らの模範や憧れとなる教職員はいますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 複数人いる	62.4	54	37.5
2 一人はいる	21.9	26.2	25
3 いない	15.6	19.6	37.5

19. 自校の学校教育目標や課題、それに対する取組の方向性を理解し、日頃から意識して教育活動を行っていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 そう思う	49.4	48.3	62.5
2 大体そう思う	48.6	48.3	37.5
3 あまりそう思わない	1.8	3.2	0
4 そう思わない	0	0	0

20. あなたは、それぞれの場所で研修や会議を行う際、どのような参加の仕方をしていくことが多いですか。

	校種	校内研究会や 研修会	学年会	教科や分掌等 の部会	若年教員対象 の研修会
1 主に話し合いを進めている	小学校	46.4	35.3	43.8	24.5
	中学校	46.7	11.4	43.4	22.9
	総合支援学校	25	37.5	62.5	25
2 自分の考えを積極的に話している	小学校	29.7	21.1	31.9	14.1
	中学校	19.6	45	37.7	23.7
	総合支援学校	25	25	0	50
3 話を聞いていることが多いが、時々自分の考えを話す	小学校	22.3	13	21.1	32.3
	中学校	28.6	39.3	18	30.3
	総合支援学校	50	12.5	25	25
4 話を聞くだけで、自分の考えは話していない	小学校	1.4	0.3	0	2.2
	中学校	4.9	1.6	0.8	0.8
	総合支援学校	0	0	0	0
5 参加していないもしくは、場が設定されていない	小学校	0	30.1	2.9	26.7
	中学校	0	2.4	0	22.1
	総合支援学校	0	25	12.5	0

21. 校内の研修会や会議、管理職や同僚から学んだことを、実践で活用することができていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 できている	36	38.5	0
2 どちらかといえばできている	60.5	53.2	100
3 どちらかといえばできていない	2.9	7.3	0
4 できていない	0.3	0.8	0

22. 校外（センターでの研修会や研究会活動等）で学んだことを、自校の教職員に伝えてありますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 学校全体の研修会や会議等で伝えている	39.7	41.8	25
2 学年会や各部会等で伝えている	37.5	29.5	50
3 普段から機会があるごとに伝えている	40.5	43.4	62.5
4 伝えていない	5.2	10.7	0

23. あなたは、京都市教育研究団体の研究会活動に参加していますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 よく参加している	28.2	22.1	12.5
2 時々参加している	28.9	31.9	75
3 参加していない	42.7	45.9	12.5

24. あなたは、「OJT（On-the-Job-Training）」という言葉や意味をご存知ですか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 知っている	88.4	82.7	75
2 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない	11.1	12.2	25
3 知らない	0.3	4.9	0

25. 京都市教育委員会では、「OJT」を下記（省略）のように捉えています。あなたの学校で、このようなことを意識して取り組んでいることはありますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 ある	46	32.7	25
2 どちらかといえばある	39.7	42.6	50
3 どちらかといえばない	13	18	25
4 ない	1.1	6.5	0

26. (25. で3・4の場合) あなたの学校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	86.8	66.6	100
2 新たな取組への負担感が大きい	65.7	66.6	50
3 推進するリーダーがいない	28.9	46.6	0
4 教職員間に教え合う雰囲気できていない	21	36.6	0
5 どのように進めればよいか分からない	31.5	36.6	100
6 必要性を感じない	0	6.6	0
7 課題はない	0	0	0
8 その他	2.6	3.3	0

27. どのような取組ですか。具体的に教えてください。
（自由記述、抜粋）

- ・新採教員の指導を、全校で協力してできるようにしている。
- ・研修のバトンという取組で教職員が順番に研修を企画・運営する。
- ・他学年にまたがって、教材に関する話題をディスカッションする。
- ・「Teamsでチームになろう」という合言葉のもと、教材、板書、指導案などを共有している。
- ・前期課程・後期課程の教員と一緒にチームを組み研修を行っている。
- ・ICT活用研修については、3つのレベル別ICT活用スキルを設定し、自分のレベルに応じた研修会（自由参加）に参加するようにした。

28. その取組は、意図的・計画的・継続的に行っていますか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 意図的に行っている	74.4	71.7	83.3
2 計画的に行っている	70.1	54.3	100
3 継続的に行っている	70.1	48.9	100
4 どれもあてはまらない	0.4	3.2	0

29. その取組を通して、それぞれの力は高まっていると思いますか。

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 若年（採用5年目まで） 教職員の資質能力	小学校	35.4	60.1	4.3	0
	中学校	33.6	60.8	5.4	0
	総合支援学校	50	50	0	0
2 ミドル（採用6～14年目） 教職員の資質能力	小学校	22	70.5	6.4	0.8
	中学校	18.4	72.8	8.6	0
	総合支援学校	33.3	66.6	0	0
3 ベテラン（採用15年目 以上）教職員の資質能力	小学校	16.4	64	16.8	2.5
	中学校	9.7	59.7	25	5.4
	総合支援学校	16.6	33.3	66.6	0
4 学校の組織力 （協働して共通の目的を達成 しようとする力）	小学校	27.2	62.7	8.6	1.2
	中学校	14.1	73.9	9.7	2.1
	総合支援学校	33.3	66.6	0	0

30. (25. で1・2の場合) あなたの学校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、課題となっていることはありますか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	76.6	78.2	50
2 新たな取組への負担感が大きい	45	53.2	66.6
3 推進するリーダーがいない	16.8	16.3	33.3
4 教職員間に教え合う雰囲気が できていない	5.6	13	0
5 どのように進めればよいか分からない	10.3	13	0
6 必要性を感じない	0	2.1	0
7 課題はない	6.4	5.4	0
8 その他	9	6.5	16.6

・自然に行えるべきだと考えるが、その風土を作ることが難しい
・見通しをもって仕事を進めること、主体的に研修に参加すること など

31. OJTの推進について、ご意見があればお書きください。
(自由記述、抜粋)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組の中にOJTの考え方を取り入れ、効率的に推進できればと思う。 ・教員年齢層の若年化や働き方改革の推進など、様々な変化がある中でサステナブルな学校やその指導力を担保するためにOJTは今後ますます重要になってくると思う。 ・とくに、あらたな取り組みはしていないが、今まである校内研修会や、教科会、学年会、分掌部会や運営委員会などの場を通して行うことは可能だと思う。そういう場所で、積極的にそのようなことを取り組んでいきたい。 ・研修として、OJTはもちろん、教務主任の立場においてはOFF-JTも、計画的に実施していく必要があると思う。 ・やりだせば意義を感じ、やってよかったという意見がでてくることは想像できるが、始めるまでにはこの多忙間の中でという雰囲気が強い。 ・「OJTの推進」ということで、OJTをしなければならないというイメージがあり、企画や場の設定等、難しく考えてしまう傾向があるように思う。 ・Off-JTとしての、どこかに集めての研修ではなく、授業動画や主事の先生からの発信を気軽に視聴できるものがあれば、日々の業務のすき間で情報が得られて、時代のニーズにも合っていると感じる。
--

基礎集計表（キャリアアップ研修受講対象者）【割合（％）】

* 義務教育学校前期課程は小学校、後期課程は中学校に含む

4. 日々の仕事を進める上で、どのような困りがありますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	43.7	39.3	23.5
2 学級経営	19.6	13.1	5.8
3 児童生徒への対応	33	19.6	29.4
4 保護者への対応	32.1	27.8	29.4
5 分掌等の校務	26.7	39.3	35.2
6 職場の人間関係	14.2	21.3	17.6
7 困りはない	18.7	13.1	11.7
8 その他	5.3	8.1	5.8

5. 問4で選択されたことについて、どのような困りがあるか具体的に教えてください。（自由記述、抜粋）

- ・知識が少ないものでも学校全体に発信しなくてはならないこと
- ・部活動で専門外のことを教えること
- ・生徒指導案件や分掌等で、教材研究の時間が勤務時間中になかなか取れないことが多い。
- ・保護者が学校に求めてこられることのニーズがこれまでと異なることが多く感じられる。
- ・校務分掌を中心に、組織の動かし方に難しさを感じるがあった。
- ・人間関係が希薄化しており、相談できる人が限られている。
- ・一人教科なので、相談できる人が近くにいない。

6. 仕事に関することで学びたいことや分からないこと、困ったことなどがあつたとき、どのようにして解決することが多いですか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自校の教職員に相談する。	95.5	90.1	100
2 他校の教職員に相談する。	66	60.6	64.7
3 1・2以外の家族や知人などに相談する。	23.2	24.5	23.5
4 本や資料、ICT機器等を使って調べる。	68.7	50.8	52.9
5 京都市総合教育センター主催の研修会に参加して学ぶ。	39.2	21.3	29.4
6 研究会活動に参加して学ぶ。	24.1	18	11.7
7 5・6以外の研修会やセミナー等に参加して学ぶ。	8.9	11.4	5.8
8 自分だけで解決する。	11.6	22.9	29.4
9 その他	0	1.6	0

7. 以下の京都市総合教育センターの研修コンテンツ等で、自己の学びのために利用したことがあるものを選んでください。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 京都市総合教育センター内にある「カリキュラム開発支援センター」	63.3	21.3	11.7
2 京都市総合教育センターが作っている「総合ポータルサイト」	87.5	62.2	41.1
3 京都市総合教育センターが作っている「教職員研修支援SMART POTAL」	72.3	37.7	64.7
4 どれも利用したことがない	0	24.5	17.6

8. 日頃、自校の管理職から教えられたり、自分から相談したりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	58	50.8	29.4
2 どちらかといえばしている	33.9	37.7	47
3 どちらかといえばしていない	7.1	8.1	23.5
4 していない	0.8	3.2	0

9. (8. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	25.2	11.1	7.6
2 学級経営	27.1	11.1	7.6
3 児童生徒への対応	66.9	59.2	38.4
4 保護者への対応	68.9	59.2	46.1
5 分掌等の校務	46.6	64.8	61.5
6 職場の人間関係	10.6	24	23
7 その他	0.9	3.7	7.6

10. (8. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	44.4	57.1	75
2 相手が忙しくて時間が取れない	44.4	28.5	50
3 相手に話しかけにくい雰囲気がある	22.2	0	0
4 職場に相談しにくい雰囲気がある	22.2	14.2	25
5 何を相談したらよいか分からない	0	28.5	25
6 その他	44.4	28.5	0
・働き方改革の中で、相談をすることで相手の時間をとってしまうことになるので相談することをためらってしまう。 など			

11. 日頃、自校の管理職以外の教職員から教えられたり、自分から相談したりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	70.5	59	41.1
2 どちらかといえばしている	25	37.7	47
3 どちらかといえばしていない	1.7	3.2	11.7
4 していない	2.6	0	0

12. (11. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	76.6	55.9	46.6
2 学級経営	38.3	47.4	20
3 児童生徒への対応	85	69.4	80
4 保護者への対応	57	54.2	46.6
5 分掌等の校務	38.3	55.9	53.3
6 職場の人間関係	11.2	25.4	33.3
7 その他	0	0	6.6

13. (11. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	60	50	50
2 相手が忙しくて時間が取れない	20	0	50
3 相手に話しかけにくい雰囲気がある	0	0	0
4 職場に相談しにくい雰囲気がある	0	50	0
5 何を相談したらよいか分からない	20	0	100
6 その他	40	0	0

14. 日頃、自校の教職員に教えたり、相談にのったりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	36.6	37.7	35.2
2 どちらかといえばしている	51.7	45.9	41.1
3 どちらかといえばしていない	9.8	14.7	23.5
4 していない	1.7	1.6	0

15. (14. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	66.6	43.1	53.8
2 学級経営	56.5	58.8	46.1
3 児童生徒への対応	81.8	82.3	92.3
4 保護者への対応	47.4	60.7	61.5
5 分掌等の校務	28.2	47	46.1
6 職場の人間関係	16.1	29.4	30.7
7 その他	0.1	3.9	0

16. (14. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	69.2	50	50
2 相手が忙しくて時間が取れない	38.4	20	25
3 職場に教えたり相談したりしにくい雰囲気がある	15.3	10	0
4 その他 ・時短勤務で相談しあうほどの人間関係が築けていない ・教えられるほどの能力がない など	15.3	30	75

17. 校内に、自らの模範や憧れとなる教職員はいますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 複数人いる	64.2	50.8	41.1
2 一人はいる	27.6	36	23.5
3 いない	8	13.1	35.2

18. 自校の学校教育目標や課題、それに対する取組の方向性を理解し、日頃から意識して教育活動を行っていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 そう思う	29.4	19.6	17.6
2 大体そう思う	67.8	72.1	76.4
3 あまりそう思わない	2.6	8.1	5.8
4 そう思わない	0	0	0

19. あなたは、それぞれの場所で研修や会議を行う際、どのような参加の仕方をしていくことが多いですか。

	校種	校内研究会や 研修会	学年会	教科や分掌等 の部会	若年教員対象 の研修会
1 主に話し合いを進めている	小学校	6.2	26.7	23.2	6.2
	中学校	8.1	26.2	26.2	8.1
	総合支援学校	11.7	23.5	17.6	0
2 自分の考えを積極的に 話している	小学校	35.7	34.8	36.6	24.1
	中学校	21.3	36	47.5	26.2
	総合支援学校	5.8	17.6	17.6	17.6
3 話を聞いていることが多い が、時々自分の考えを話す	小学校	53.5	15.1	24.1	28.5
	中学校	54	29.5	24.5	29.5
	総合支援学校	70.5	35.2	52.9	52.9
4 話を聞くだけで、自分の 考えは話していない	小学校	0.8	0	2.6	2.6
	中学校	14.7	4.9	0	4.9
	総合支援学校	11.7	5.8	11.7	0
5 参加していないもしくは、 場が設定されていない	小学校	3.5	23.2	13.3	39.2
	中学校	1.6	1.6	1.6	31.1
	総合支援学校	0	17.6	0	29.4

20. 校内の研修会や会議、管理職や同僚から学んだことを、実践で活用することができていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 できている	28.5	16.3	11.7
2 どちらかといえばできている	66	75.4	17.6
3 どちらかといえばできていない	5.3	6.5	70.5
4 できていない	0	1.6	0

21. 校外（センターでの研修会や研究会活動等）で学んだことを、自校の教職員に伝えてありますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 学校全体の研修会や会議等で伝えている	16.9	4.9	17.6
2 学年会や各部会等で伝えている	41.9	36	29.4
3 普段から機会があるごとに伝えている	35.7	42.6	41.1
4 伝えていない	19.6	21.3	23.5

22. あなたは、京都市教育研究団体の研究会活動に参加していますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 よく参加している	14.2	9.8	5.8
2 時々参加している	32.1	29.5	76.4
3 参加していない	53.5	60.6	17.6

23. あなたは、「OJT（On-the-Job-Training）」という言葉や意味をご存知ですか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 知っている	82.1	78.6	58.8
2 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない	17.8	19.6	29.4
3 知らない	0	1.6	11.7

24. 京都市教育委員会では、「OJT」を下記（省略）のように捉えています。あなたの学校で、このようなことを意識して取り組んでいることはありますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 ある	31.2	21.3	11.7
2 どちらかといえばある	47.3	36	29.4
3 どちらかといえばない	17.8	36	52.9
4 ない	3.5	6.5	5.8

25. (24. で3・4の場合) あなたの学校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	83.3	69.2	60
2 新たな取組への負担感が大きい	58.3	46.1	40
3 推進するリーダーがいない	20.8	42.3	50
4 教職員間に教え合う雰囲気できていない	20.8	11.5	70
5 どのように進めればよいか分からない	41.6	46.1	30
6 必要性を感じない	0	3.8	0
7 課題はない	0	0	0
8 その他	0	3.8	0

26. どのような取組ですか。具体的に教えてください。（自由記述、抜粋）

- ・誰でも参加できる自己研修のようなことを行っている。
- ・自分の興味関心がある研修に参加し、各自の学びを7分程度で発表し意見交流する場を設けている。
- ・経験歴の異なる教員がグループを組んで校内研究を進めている。
- ・若年研修では、年間を通して板書コンテストや掲示物鑑賞など、様々な取組を行っている。
- ・10年目研修の機会を利用し、若手のための授業研修を行う。
- ・前期課程・後期課程の両方が合わさった教科部会を時間割内会議でもち、常に互いの取組を共有している。

27. その取組は、意図的・計画的・継続的に行っていますか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 意図的に行っている	55.6	60	42.8
2 計画的に行っている	61.3	60	71.4
3 継続的に行っている	59	62.8	57.1
4 どれもあてはまらない	2.2	0	0

28. (24. で1・2の場合) あなたの学校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、課題となっていることはありますか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	76.1	68.5	85.7
2 新たな取組への負担感が大きい	35.2	22.8	42.8
3 推進するリーダーがない	7.9	11.4	0
4 教職員間に教え合う雰囲気できていない	3.4	11.4	42.8
5 どのように進めればよいか分からない	18.1	8.5	14.2
6 必要性を感じない	0	0	0
7 課題はない	7.9	11.4	14.2
8 その他	9	2.8	0

・若手教員のおもいや困りやニーズを把握できていないこと
・教職員の学ぶ意欲の低下
・仕組みやシステムとして枠や形がないこと など

29. OJTの推進について、ご意見があればお書きください。
(自由記述、抜粋)

- ・いつでも「自分から」の意識をもって、学び続けようと思っています。
- ・研修・全員参加など位置づけしなくとも普段から相談し合えるような自然なOJTをやってみたいなとも思う。
- ・若手の教員が多い本校では、OJTはとても必要だと思う。まずは自ら学ぶ機会を多く持つことが大切だと思った。
- ・OJTの推進は、私自身の課題でもあると思う。ステップアップ研修等で学びを深め、校内OJTに生かすよう努めたい。
- ・講義という形だけではなく、活動を通して、体感しながら身に付けていければと思った。
- ・OJTという考え方は合理的で良いと思っている。普段から行っていると思うが、自身や教職員が意識して行っているかどうかは微妙なところだ。
- ・重要性は感じているが、職場でそのような雰囲気づくりができていなかったり、準備が整っていなかったりするとスタートがしづらい。

基礎集計表（採用2・3年目教員）【割合（％）】

* 義務教育学校前期課程は小学校、後期課程は中学校に含む

5. 日々の仕事を進める上で、どのような困りがありますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	57.9	54.7	40.8
2 学級経営	42.9	38	10.2
3 児童生徒への対応	49.1	34.5	40.8
4 保護者への対応	30	32.1	24.4
5 分掌等の校務	23.7	44	8.1
6 職場の人間関係	7.9	15.4	14.2
7 困りはない	10.8	7.1	14.2
8 その他	2	5.9	6.1

6. 問5で選択されたことについて、どのような困りがあるか具体的に教えてください。

（自由記述、抜粋）

- ・ 児童や保護者とどのように信頼関係を築いていくか。
- ・ 丸つけやコメントが大変。他の教員がどのようにフィードバックをしているのか知りたい。
- ・ 1クラスなので、スタンダードを参考に考えた指導内容で自分自身がとらえ違いをしていないか、進度に不安な時がある。
- ・ 指導力を向上させていきたいものの、何をすべきかわからない。
- ・ 教科担任制を行っているため、指導方法が分からなかったときに学年間で聞くことができない。
- ・ 学年主任としてペアの子への声かけの仕方
- ・ 希望していない部活動の指導をすることへの悩み
- ・ 提案の用紙の作り方や企画の通し方、どこまで若手が取り組んでよいのか。
- ・ 校務分掌に関しては、引継資料だけでは進めることができない等があり、その都度、移動した先生に連絡し、手探り状態で進めることに不安がある。
- ・ 若手として言いにくい環境
- ・ 仕事を業務時間内に進めていくこと
- ・ 大規模校ならではの教員間の連携業務の難しさ

7. 仕事に関することで学びたいことや分からないこと、困ったことなどがあつたとき、どのようにして解決することが多いですか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自校の教職員に相談する。	98.7	97.6	97.9
2 他校の教職員に相談する。	49.1	54.7	34.6
3 1・2以外の家族や知人などに相談する。	25.4	19	20.4
4 本や資料、ICT機器等を使って調べる。	56.2	47.6	44.8
5 京都市総合教育センター主催の研修会に参加して学ぶ。	22	22.6	12.2
6 研究会活動に参加して学ぶ。	20	11.9	14.2
7 5・6以外の研修会やセミナー等に参加して学ぶ。	7.9	3.5	4
8 自分独りで解決する。	10	14.2	12.2
9 その他	0	0	0

8. 以下の京都市総合教育センターの研修コンテンツ等で、自己の学びのために利用したことがあるものを選んでください。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 京都市総合教育センター内にある「カリキュラム開発支援センター」	25.8	11.9	16.3
2 京都市総合教育センターが作っている「総合ポータルサイト」	80.4	59.5	55.1
3 京都市総合教育センターが作っている「教職員研修支援SMART POTAL」	86.6	61.9	28.5
4 どれも利用したことがない	2	15.4	28.5

9. 日頃、自校の管理職から教えられたり、自分から相談したりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	65.4	48.8	18.3
2 どちらかといえばしている	29.1	39.2	30.6
3 どちらかといえばしていない	5	10.7	38.7
4 していない	0.4	1.1	12.1

10. (9. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	28.6	20.2	4.1
2 学級経営	49.3	29.7	20.8
3 児童生徒への対応	82.8	62.1	50
4 保護者への対応	81.9	74.3	66.6
5 分掌等の校務	37.8	47.2	29.1
6 職場の人間関係	8.3	9.4	8.3
7 その他	0.4	1.3	0

11. (9. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	46.1	40	28
2 相手が忙しくて時間が取れない	38.4	40	12
3 相手に話しかけにくい雰囲気がある	30.7	30	4
4 職場に相談しにくい雰囲気がある	15.3	10	4
5 何を相談したらよいか分からない	30.7	50	44
6 その他	23	0	20
・管理職より主任、学部長、先輩の先生の方が身近だから ・相談しにくいわけではないが、内容による。 など			

12. 日頃、自校の管理職以外の教職員から教えられたり、自分から相談したりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	83.3	82.1	77.5
2 どちらかといえばしている	15.4	16.6	20.4
3 どちらかといえばしていない			
4 していない	1.2	1.1	2

* アンケートに3の選択肢が抜けていたため斜線としている。

13. (12. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	82.2	67.4	50
2 学級経営	76.3	81.9	45.8
3 児童生徒への対応	87.3	92.7	89.5
4 保護者への対応	74.6	71	66.6
5 分掌等の校務	46.8	59	12.5
6 職場の人間関係	12.2	18	20.8
7 その他	0.4	0	2

14. (12. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	33.3	100	0
2 相手が忙しくて時間が取れない	33.3	0	0
3 相手に話しかけにくい雰囲気がある	0	0	0
4 職場に相談しにくい雰囲気がある	0	0	0
5 何を相談したらよいか分からない	33.3	100	100
6 その他	66.6	0	0

15. 日頃、自校の教職員に教えたり、相談にのったりしていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 している	29.5	20.2	36.7
2 どちらかといえばしている	46.6	54.7	53
3 どちらかといえばしていない	19.5	20.2	8.1
4 していない	4.1	4.7	2

16. (15. で1・2と回答した場合) 主に、どのような内容が多いですか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 教科の指導	48	42.8	38.6
2 学級経営	40.4	38	20.4
3 児童生徒への対応	65.5	58.7	81.8
4 保護者への対応	38.7	26.9	22.7
5 分掌等の校務	32.2	39.6	6.8
6 職場の人間関係	15.8	12.6	20.4
7 その他	5.4	0	0

17. (15. で3・4と回答した場合) それは、なぜですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 自分が忙しくて時間が取れない	45.6	33.3	0
2 相手が忙しくて時間が取れない	7	0	0
3 職場に教えたり相談したりしにくい雰囲気がある	5.2	0	0
4 その他 ・自分が一番年下だから ・相談にのれるほどの経験がない など	47.3	66.6	100

18. 校内に、自らの模範や憧れとなる教職員はいますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 複数人いる	81.6	78.5	65.3
2 一人はいる	15.8	17.8	22.4
3 いない	2.5	3.5	12.2

19. 自校の学校教育目標や課題、それに対する取組の方向性を理解し、日頃から意識して教育活動を行っていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 そう思う	34.1	32.1	20.4
2 大体そう思う	63.3	60.7	75.5
3 あまりそう思わない	2.5	4.7	4
4 そう思わない	0	2.3	0

20. あなたは、それぞれの場所で研修や会議を行う際、どのような参加の仕方をしていることが多いですか。

	校種	校内研究会や 研修会	学年会	教科や分掌等 の部会	若年教員対象 の研修会
1 主に話し合いを進めている	小学校	2.5	7.9	9.1	9.1
	中学校	2.3	3.5	19	3.5
	総合支援学校	0	6.1	8.1	2
2 自分の考えを積極的に話している	小学校	21.2	53.3	28.7	35
	中学校	15.4	32.1	35.7	30.9
	総合支援学校	16.3	42.8	12.2	14.2
3 話を聞いていることが多いが、時々自分の考えを話す	小学校	67.9	30.4	50.8	47.5
	中学校	59.5	53.5	41.6	57.1
	総合支援学校	57.1	44.8	46.9	53
4 話を聞くだけで、自分の考えは話していない	小学校	8.3	0.8	9.1	3.7
	中学校	22.6	10.7	3.5	3.5
	総合支援学校	26.5	2	24.4	8.1
5 参加していないもしくは、場が設定されていない	小学校	0	7.5	2	4.5
	中学校	0	0	0	4.7
	総合支援学校	0	4	8.1	22.4

21. 校内の研修会や会議、管理職や同僚から学んだことを、実践で活用することができていますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 できている	27	23.8	18.3
2 どちらかといえばできている	70	71.4	73.4
3 どちらかといえばできていない	1.6	4.7	6.1
4 できていない	0	0	2

22. 校外（センターでの研修会や研究会活動等）で学んだことを、自校の教職員に伝えてありますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 学校全体の研修会や会議等で伝えている	9.1	5.9	0
2 学年会や各部会等で伝えている	46.6	32.1	28.5
3 普段から機会があるごとに伝えている	33.7	46.4	40.8
4 伝えていない	17.9	20.2	34.6

23. あなたは、京都市教育研究団体の研究会活動に参加していますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 よく参加している	12	3.5	14.2
2 時々参加している	44.1	46.4	34.6
3 参加していない	43.7	50	51

24. あなたは、「OJT（On-the-Job-Training）」という言葉や意味をご存知ですか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 知っている	37.5	48.8	32.6
2 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない	51.6	34.5	38.7
3 知らない	10.8	16.6	28.5

25. 京都市教育委員会では、「OJT」を下記（省略）のように捉えています。あなたの学校で、このようなことを意識して取り組んでいることはありますか。

	小学校	中学校	総合支援学校
1 ある	28.7	27.3	20.4
2 どちらかといえばある	39.5	39.2	26.5
3 どちらかといえばない	28.3	28.5	46.9
4 ない	3.3	4.7	6.1

26. (25. で3・4の場合) あなたの学校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答可）

	小学校	中学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	78.9	75	57.6
2 新たな取組への負担感が大きい	42.1	39.2	34.6
3 推進するリーダーがいない	19.7	25	7.6
4 教職員間に教え合う雰囲気できていない	11.8	14.2	3.8
5 どのように進めればよいか分からない	36.8	35.7	46.1
6 必要性を感じない	1.3	3.5	3.8
7 課題はない	2.6	3.5	3.8
8 その他	1.3	0	7.6

27. どのような取組ですか。具体的に教えてください。
（自由記述、抜粋）

- ・ほとんどの職員が参加するOJT研修があり、教科横断的な取組を考えたり、どういったことを意識すれば授業力が上がるのかといったことを学び合ったりする場がある。
- ・教育相談の方法や家庭訪問の仕方、三者懇談の心得、校長会ソフトの使い方など、その時々に必要な内容を経験のある教員が講師となり、スキルアップ講座という形で開催している。
- ・だれでも参加しやすいミニ研修会が定期的に行われていて、常に学ぶ場がある。
- ・学期ごとに取り組んだことや評価の方法など、その時の課題に合わせて10分程度で発表している。
- ・どんな立場の教員でも気軽に授業を公開し、互いに参観して学び合える風土がある。

28. その取組は、意図的・計画的・継続的に行っていますか。
(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 意図的に行っている	60.9	46.4	39.1
2 計画的に行っている	75.6	64.2	73.9
3 継続的に行っている	62.8	60.7	39.1
4 どれもあてはまらない	1.2	0	0

29. (25. で1・2の場合) あなたの学校で「OJT」を意識した取組を進めるにあたって、課題となっていることはありますか。(複数回答可)

	小学校	中学校	総合支援学校
1 個々の仕事が忙しくて余裕がない	65.2	75	52.1
2 新たな取組への負担感が大きい	29.8	26.7	39.1
3 推進するリーダーがいない	2.4	3.5	4.3
4 教職員間に教え合う雰囲気ができていない	4.2	5.3	13
5 どのように進めればよいか分からない	18.2	16	34.7
6 必要性を感じない	1.8	1.7	0
7 課題はない	18.2	10.7	21.7
8 その他	2.4	3.5	0
<ul style="list-style-type: none"> ・先生よっての温度差がある。 ・結局普通の業務量が多すぎてOJTの取組さえ負担に感じる。 など 			

30. OJTの推進について、ご意見があればお書きください。
(自由記述、抜粋)

- ・学びの場が増えることは、私にとってはとてもありがたい。研究会や研修になかなか勇気が出ず行けていないので、もっと学びの場に自ら行こうと思う。
- ・義務的にこなすのではなく、自主的な学びであるという意識が大切だと実感している。
- ・一般企業と違い、教員という仕事はOJTが大変不足しており、講師一年目の先生は特に苦勞をと思う。OJTを充実することが、重要だと思う。
- ・教員不足の状況下にあることは承知しているが、採用1年目の心と体の負担が減るようなOJTの在り方を考えていただければと思う。
- ・学校でOJTという言葉聞くことがほとんどなく、指名研修等で学ぶことの他に、OJTで学ぶ内容とはどのようなことなのか知りたい。
- ・必要としていることや学びたいことが一人ひとり異なるため、教職員全体で進めることは難しいように感じた。